



コネクティッドカー用 自己回復ソフトウェア

Aurora Labsの自己回復ソフトウェアは、自動車メーカーが 将来の自動車向けソフトウェアアーキテクチャ、プロセス、およびサービスのために先を見越して対応できるようにします。当社は、シームレスに潜在的なソフトウェアの問題を検出し、それを修復、更新、そして検証できる能力を自動車メーカーに提供することによって、コネクティッドカーの未来をより予測可能なものにしていきます。

将来性のある コネクティッドカー

自動車の世界に今まさに革命が起きようとしています。そしてその中で、ソフトウェアとコネクティビティがビジネスvを行う上で不可欠な一部になっています。車載用ソフトウェアの開発管理は、その規模と複雑さの故にますます重要になっており、かつその開発サイクルに許された期間が短くなっているため、プレッシャーがますます大きくなっています。包括的なソフトウェア管理は、コネクティッドカーのビジネスでの潜在的可能性を最大限に活かしたい自動車メーカーにとって不可欠です。なぜなら、それがドライバー体験を向上させ、製造後の収益をもたらし、改善された効率性を通してコストを削減し、リコール等のリスクを減らすからです。自動車業界はますますソフトウェアに依存するようになっていますが、当社のテクノロジーは、安全性を犠牲にすることなく、イノベーション、セキュリティ、そして継続的な開発を可能にする上で重要な役割を果たします。

当社は、自動車用ソフトウェアの健全性のために必要な4つすべての段階に対処します

Aurora LabsのLine-Of-Code Behavior™テクノロジーは、車載ソフトウェア管理のソリューションの基礎となるものです。Aurora Labsは、機械学習のアルゴリズムを使用して独自に4つの段階（検出、修復、更新、検証）に対処することで、次世代のソフトウェア方式の自動車機能の要求に将来にわたって応えることができます。コード行の欠陥を検出したり休止時間の出来事を予測することや、移動中にエラーを修復して新しいソフトウェアの展開のために安全策を講じたり、信頼できるコスト効率の良い新しい自動車機能を、ユーザーの休止時間なしで、すべての車両用ECU（電子制御ユニット）のために展開したり、そしてソフトウェアへの変更を検証して認証を促進することなど、Aurora Labsは自己回復自動車の時代に先鞭をつけます。



継続的なユーザー中心の自動車ソフトウェアの展開を可能にする

予防的な自動車診断と分析

予防的にソフトウェアの健全性を分析し、その脆弱性を検出して特定します。そして診断部門のためにコード行の動作に関するデータを収集します。

シームレスな自動車の動作可能時間

たとえソフトウェアが不具合を起こした場合でも、シームレスに製品の機能性を回復します。

将来性のある自動車機能

ソフトウェア修復、新機能、そしてセキュリティ上の更新など、すべての自動車用ソフトウェアに対して将来的にいつでも更新が行われるように保証します。

認証の証拠

タイプ承認と認証のために、どのコードが変更された、追加された、または影響を受けたかを立証するランタイム認証を提供します。

当社の概要

資金調達
300万ドル、2017年
850万ドル、2018年

本社：
イスラエル、テルアビブ

海外拠点：
ミュンヘン、スコピエ、およびデトロイト

投資家：
FMC, MizMaa Ventures,
Maniv Mobility, Trucks,
Expansion Venture Capital

LINE-OF-CODE BEHAVIOR™ テクノロジー

ソフトウェアのプラットフォームが成長する中で、悪意によるものか、あるいは偶発的なものによるのかにかかわらず、コード行への阻害が、自動車の大規模なリコールや休止時間の原因となっています。そのような状況においてAurora Labsの研究者は機械学習ベースのLine-Of-Code Behavior™テクノロジーを開発しました。これが当社の車載ソフトウェア管理のソリューションの基礎になっています。



自動検出

自動車用ECU上に展開されたコード行の健全性とパフォーマンスを予防的に分析します



自動修復

ソフトウェアを、前回までの安全で機能的、そして証明済みのコード行の安全ポイントに回復します。デュアルメモリーや接続性は必要としません。



自動更新

クライアント不要のホット更新によりループを閉じるOTA更新ソフトウェア
休止時間なしのソリューション



自動検証

機能性に関連した車載ダイナミックソフトウェアのシグネチャ

コネクティッドカーの先見性と収益性の鍵